

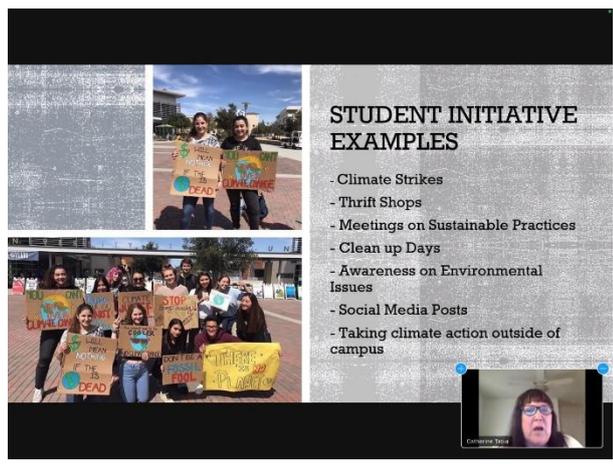
経済学部経済学科3年の木戸崇博です。私は春休み期間中にCSUSMのオンライン学習プログラムに参加しました。ビデオコミュニケーションツールのZOOMを使ってサンマルコス校の学生と交流し異文化を知るというプログラムです。授業は全部で10日間あり、基本的に朝10時から昼12時までの2時間行います。

授業の流れとしては①説明→②グループワーク→③プレゼンテーション→①説明…を繰り返します。授業の初めに先生やサンマルコス校の学生がプレゼンターとなり、授業で扱う内容の説明を行い、5~6人程度のグループに分けられ、そのグループの中で授業で与えられたテーマに沿って10~15分グループワークを行います。そして2分程度のショートプレゼンをした後、より深掘った内容の説明を受け再びグループワークとプレゼンを行います。実際に授業で取り扱った内容は自分の住んでいる地域の観光名所や歴史的施設の紹介、カリフォルニア州の主要産業やCSUSMのあるサンディエゴの名産品についてなどを学びました。それら以外にも仮想のクラブの設立やカリフォルニア州の歴史についてなど、授業ごとに毎回異なるテーマだったので非常に面白かったです。

その中でも、特に興味深かったのはSDGsについての授業です。SDGsの概要に加えて、現地学生が実際に行なっている活動の紹介やSDGsの目標を達成するために私たちは何が出来るかアメリカと日本の学生同士で意見を交換しました。最終的にSDGsの7つ目のエネルギーに関する目標に対して、もし今後3ヶ月この目標の達成のために取り組むとしたら自分はどのように行動するかプレゼンテーションを行いました。実際に、SDGsについてSNSを通じて発信する、大学の学生や教授から募金を行い寄付するなどのアイデアが出ていました。

10日間と短い期間でしたがカリフォルニア州の歴史や経済、観光地などを現地の学生とコミュニケーションを取りながら学ぶことができ、非常に濃い内容でした。

CSUSMの学生が行っている活動



学生が発表している様子

